

# 「読書クイズ」を出し合おう（3年）

## 指導目標

自分で作品を選び、課題や方法を決め、活動し、自己評価や相互評価を行うことができるようにする。

自分で作品を選び、課題や方法を決め、クイズ作りなどを楽しむことができるようにする。

物語のおもしろさを経験し、進んで読書することができるようにする。

## 教材について

3年生の子供たちは物語が好きだ。なぜなら物語の世界を想像して楽しむことができるからである。さらに自分一人で上手に音読することができるようになってきている。だから、機会を与えるとすすんで読書する。しかしそうでない子もいる。例えば物語の世界を想像したり、音読したりすることが苦手な子である。そのような子にも物語のおもしろさを経験させる必要がある。そこで本教材『「読書クイズ」を出し合おう』で物語のおもしろさを経験させる。するとすすんで物語などを読書する子供に育つ。

### （1）読書クイズを出し合うための工夫

本教材は「二 本の世界を広げよう」の第2教材（『ひろがる言葉 小学国語3下』第2単元）である。本単元は「学習のとびら」（同25ページ）にあるように物語教材『のらねこ』と読書の広場『「読書クイズ」を出し合おう』という2つの教材で構成されている。本単元の学習活動のねらいにあるように「読んだ物語」で「読書クイズ」を出し合うのが主な活動である。この「読んだ物語」の一つとして『のらねこ』が教材化されている。さらに補充教材として「言葉のポケット」に『ソメコとオニ』（同101ページ）がある。これらの物語を教材として扱う。これらの教材の「読書クイズ」で物語のおもしろさを経験させる。

### （2）段階的に扱う工夫

本教材『「読書クイズ」を出し合おう』の構成をわかりやすくするために次の3つの段階で扱うこととする。「読書クイズ」で物語のおもしろさを経験させ、「読書クイズ」の方法を知らせる段階（第1次段階）、自分で作品、課題、方法を選択させ、「読書クイズ」を実行させる段階（第2次段階）、「読書クイズ」の内容や感想を学級で交流させる「読書クイズ」交流会の段階（第3次段階）である。

第1次段階では『のらねこ』を教材として用いて、次の2つのクイズを経験させる。「じゅん番にならべよう」と「かわっているのはどこ」である。（同38～39ページ）更に「お話対話」というオリジナルの「読書クイズ」を加え、「じゅん番にならべよう」と「かわっているのはどこ」を『ソメコとオニ』で経験させる。これで3つの「読書クイズ」の楽しさを味わわせることができる。「物語のおもしろさ」と「読書クイズ」の方法を経験させる。

第2次段階では班や個人で作品、課題、方法を選択させる。そして一人一人に「読書クイズ」を実行させる。班で作品を選択する場合には次の3つの「読書クイズ」から一つを選択するのが妥当である。「だれの物かな」、「わたしはだれでしょう」、「どれだけわかるかな」（同40～41ページ）である。これらの方法を教科書から読み、実行させる。個人で本を選択させる場合には先の「お話対話」、「じゅん番にならべよう」、「かわっているのはどこ」の3つの方法が妥当である。もっとも班で調べて、他の方法の「読書クイズ」で楽しんでよい。個人課題は「読書クイズ」を出す際の態度や技術などを自分で決めさせる。

第3次段階では第2次段階の班活動で扱った作品、課題、方法などの交流である。作品や方法は代表が紹介してよい。課題の結果、感想、次の課題は全員に発表させる。

### 学習指導計画（全10時間）

展開・時	学習内容	留意点
第1次段階 第1時	『のらねこ』での「読書クイズ」 クイズ1 かわっているのはどこ ・ 先生クイズ（一斉学習，先生のクイズに答える。） ・ 友達クイズ（班学習，先生が作ったようなクイズを出し合う。） ・ 友達クイズ（一斉学習，班代表が学級のみんなにクイズを出す。）	教師が手本を示し，子供にさせる。 ・ 「読書クイズ」が読書を楽しむ一つの方法であることを知らせる。 ・ 読書が嫌いな子を確認，好きになるように期待をもたせる。 ・ 教科書に載っているクイズを扱う。他のクイズを考えたり調べたりしてもよいことを知らせる。
第2時	『のらねこ』での「読書クイズ」 クイズ2 じゅん番にならべよう ・ 先生クイズ（一斉学習，先生のクイズに答える。） ・ 班準備（班学習，先生が作ったようなクイズを班で作る。） ・ 班クイズ（一斉学習，一人ずつ会話文を読んでいく。）	教師が手本を示し，子供にさせる。 ・ 会話文を書いた5枚くらいの紙を用意し，順番を当てさせる。 ・ 挙手，返事の指導をする。 ・ 班ごとで，一人1会話文を書かせ，クイズを作らせる。 ・ 班ごとに順番を当てさせる。 ・ 当たったら正解を言わせる。
第3～4時 （本時1）	『ソメコとオニ』での「読書クイズ」 クイズ3 お話対話 ・ 先生クイズ（一斉学習，先生の読み聞かせを聴き，先生クイズに答える。） ・ 友達クイズ（班学習，一人一人が順番に好きな所1～2段落くらいを読み聞かせ，先生のようにクイズを出す。） ・ 友達クイズ（一斉学習，班代表が学級のみんなにクイズを出す。）	教師が手本を示し，子供にさせる。 ・ 『ソメコとオニ』の最初から1～2段落を読み聞かせる。その後，クイズを出す。 ・ 『ソメコとオニ』の好きなところ（1～2段落くらい）を決めさせる。 ・ 班ごとに一人ずつ読み聞かせをさせ，クイズを出させる。 ・ 読み聞かせがいちばん上手だった子を班の代表として決めさせる。 ・ 班の代表を前に出し，読み聞かせをさせ，クイズを出させる。
第5時	『ソメコとオニ』での「読書クイズ」 クイズ1 かわっているのはどこ ・ 先生クイズ（一斉学習，先生のクイズに答える。） ・ 友達クイズ（班学習，先生が作ったようなクイズを出し合う。） ・ 友達クイズ（一斉学習，班代表が学級のみんなにクイズを出す。）	教師が手本を示し，子供にさせる。 ・ 『ソメコとオニ』の中で好きな文を5文くらい視写する。 ・ 視写した文の横に，変えるところを赤でメモする。 ・ 赤で変えた文を読む。 ・ 子供が変えたところを正しく指摘したら，正解を言う。 ・ このように班でもさせる。

<p>第6時</p>	<p>『ソメコとオニ』での「読書クイズ」クイズ2 じゅん番にならべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生クイズ（一斉学習，先生のクイズに答える。）</li> <li>班準備（班学習，先生が作ったようなクイズを班で作る。）</li> <li>班クイズ（一斉学習，一人ずつ会話文を読んでいく。）</li> </ul>	<p>教師が手本を示し，子供にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話文を書いた5枚くらいの紙を用意し，順番を当てさせる。</li> <li>挙手，返事の指導をする。</li> <li>班ごとで，一人1会話文を書かせ，クイズを作らせる。</li> <li>班ごとに順番を当てさせる。</li> <li>あたったら正解を言わせる。</li> </ul>
<p>第2次段階第7～8時 (本時2)</p>	<p>選択学習で「読書クイズ」大会を楽しもう 次の3つの選択を班ごとに行う。</p> <p>選択1 自分の課題を何にするか。 課題例から個人課題を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>態度（ふざけないで取り組む。みんなを楽しませる。）</li> <li>話し方（ゆっくり話す。はっきり話す。みんなを見て話す。）</li> </ul> <p>選択2 班共通にするかしないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班で共通の本を読む。（Aコース）</li> <li>個人選択の本を読む。（Bコース）</li> </ul> <p>選択3 どの方法でクイズをするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Aコースは「だれの物かな」，「わたしはだれでしょう」，「どれだけわかるかな」から一つのクイズを選択する。</li> <li>Bコースは「お話対話」，「じゅん番にならべよう」，「かわっているのはどこ」から一つのクイズを選択する。読み聞かせる部分が長くならないように注意する。</li> </ul> <p>自己課題を意識して，「読書クイズ」の準備，実行を行う。</p>	<p>3つの選択を子供にさせる。 『プランくん』にメモさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班で活動させる。</li> <li>活動に入る前に態度や話し方などから個人課題を決めさせ，それに挑戦させる。</li> <li>クイズの種類により，班で共通の作品を決めて読んだほうがよいか個人で作品を選択したほうがよいかを選択させる。</li> <li>どの「読書クイズ」を班で行うかを選択させる。これも班で共通した「読書クイズ」を選択させてもよいし，個人に「読書クイズ」を選択させてもよい。ここにはない「読書クイズ」をさせてもよい。その際，Bコースの班は全員が共通の本を読んでいないので，読み聞かせてからクイズを出させる。「じゅん番にならべよう」では粗筋を話させてクイズを出させてもよい。</li> </ul> <p>1時間めで準備させ，2時間めで実行させる。</p>
<p>第3次段階第9～10時</p>	<p>「読書クイズ」交流会 班ごとに発表準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人課題とその結果，自分が決めた作品名，クイズとその答え，自己評価，感想の発表メモを書く。</li> <li>発表練習をする。</li> </ul> <p>班ごとに発表する。 300字くらいの授業感想を書く。</p>	<p>楽しかったことを交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人1分間以内のスピーチ。</li> <li>2時間で終わらせるように時間配分を計画する。</li> <li>一人1分以内でスピーチできるように準備をさせる。</li> <li>コースや「読書クイズ」の方法は班でだれかが代表して紹介する。</li> </ul>

## 本時の展開1 (本時3 ~ 4 / 10)

### 目標

- ・「お話対話」の「読書クイズ」を楽しむことができるようにする。
- ・応え方、話し方、聞き方、メモ、読み聞かせをきちんとすることができるようにする。

### 評価規準

- ・すすんでクイズを考えたり、答えたりして取り組む。(関心・意欲・態度)
- ・応え方、話し方、聞き方を適正に行う。(話すこと・聞くこと)
- ・クイズと答えを短くメモする。(書くこと)
- ・すらすらと読み聞かせる。(読むこと)

### 展開例

学習活動	学習内容	評価・支援
1 本時の学習を確かめる。		今日は新しい「読書クイズ」だと知らせる。 「お話対話」という方法を覚えるよう促す。
	『ソメコとオニ』で「お話対話」をしよう	
2 先生の「お話対話」  ・ 応答(腕を伸ばした挙手, 元気な返事, みんなに届く声での答え)  ・ 答え(時, 場所, 人物, 行動, 理由など)	先生の読み聞かせを聞き, クイズに答える。 (一斉学習)  ・ 説明例「先生が『ソメコとオニ』を読み聞かせます。1段落か2段落を読んだら, 読んだなかからクイズを出します。答えがわかった人は元気に手を挙げて, 当てられてから答えます。」このような説明をしてから教材を読み聞かせる。  ・ クイズ例「最初から2つの段落を読み聞かせる。」ソメコはいくつですか。」「だれが退屈していましたか。」「ソメコはどのように遊んだり, 生きたりしていますか。」「(場面1を最後まで読み聞かせる。)」ソメコにどこへ行って遊べと大人が言いましたか。」「登場人物はだれですか。」「場面1のできごと(事件)は何ですか。」など。	教師が手本を示す。 ・教科書101ページ~を見せないで行う。事前に読ませるのはよい。読んでいない状態でも読み聞かせるので可能である。 ・ クイズの出し方を手本として示す。 <b>話聞</b> : 腕を伸ばした挙手, 元気な返事, みんなに届く声で発言することができる。
3 班での「お話対話」  ・ 班活動(先生のように好きなところ1~2段落くらいを順番に読み聞かせ, クイズを出す。)  ・ 学級活動(班代表が学級のみんなにクイズを出す。)	クイズを出したり, 友達クイズに答えたりする。 (班学習)  ・ クイズを決める。 ・ 「クイズ・シート2」に答とクイズをメモする。 ・ 読む段落を決める。クイズの答えがある段落を含めて1つか2つの段落にする。 ・ 班の中で順番を決める。 ・ 一人ずつ, 自分が決めた段落の読み聞かせをし, そこからクイズを出す。 ・ 答えがわかった子はしっかりと挙手し, 当てられたら元気に返事をして答える。 各班でいちばん上手だった子がクイズを出したり, 友達クイズに答えたりする。(一斉学習) ・ 班でいちばん上手だった子を決める。 ・ 班の代表が「お話対話」をする。	子供にさせる。 <b>関</b> : すすんで取り組むことができる。 <b>書</b> : 答えとクイズを短くメモすることができる。 <b>話聞</b> : よく聴いて, 答えようとしている。 <b>読</b> : すらすらと読み聞かせることができる。

## 本時の展開2（本時7～8 / 10）

### 目標

- ・ しっかり準備し、「読書クイズ」大会を楽しむことができるようにする。
- ・ 応え方、話し方、聞き方、話し合い方、メモ、読み方などをきちんとすることができるようにする。

### 評価規準

- ・ すすんでクイズを考えたり、答えたりして取り組む。（関心・意欲・態度）
- ・ 応え方、話し方、聞き方、話し合い方、を適正に行う。（話すこと・聞くこと）
- ・ クイズと答えを短くメモする。（書くこと）
- ・ クイズを考えるために詳しく読む。（読むこと）

### 展開例

学習活動	学習内容	評価・支援
1 本時の学習を確かめる。		「読書クイズ」大会 メモ（『プランくん』） にメモさせる。
選択学習で「読書クイズ」大会を楽しもう		
2 3つの選択を班ごとで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">選択1 自分の課題を何にするか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">選択2 班共通の本にするかしないか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">選択3 どの方法の「読書クイズ」をするか。</div>	3つの選択をする。（班学習） 態度や話し方などから個人課題を選択し、挑戦する。次のような課題を自分で決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 態度（ふざげないで取り組む。みんなを楽しませる。）</li> <li>・ 話し方（ゆっくり話す。はっきり話す。）</li> </ul> クイズの種類により、班で共通の作品を決めて読んだほうがよいか個人で作品をきめて読んだほうがよいかを選択する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班で共通の本を読む。（Aコース）</li> <li>・ 個人で選択した本を読む。（Bコース）</li> </ul> 「読書クイズ」を班で選択する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aコース「だれの物かな」、「わたしはだれでしょう」、「どれだけわかるかな」。</li> <li>・ Bコースは「お話対話」、「じゅん番にならべよう」、「かわっているのはどこ」。</li> </ul> 班で共通した「読書クイズ」を選択するか、個人で「読書クイズ」を選択するか、ここには「読書クイズ」を選択するかである。 その際、Bコースの子は全員が共通の本を読んでいないので、読み聞かせてからクイズを出す。 1時間目で準備し、2時間めで実行する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本を決める。</li> <li>・ 答えとクイズをメモする。</li> <li>・ 班でクイズを出し合う。</li> </ul>	子供にさせる。 <b>関</b> ：すすんで取り組むことができる。 <b>話聞</b> ：話し合っていてきばきと決めることができる。 <b>読</b> ：本を決める。読んでクイズを考える。 <b>書</b> ：短くメモすることができる。 <b>話聞</b> ：みんなに届く声で話すことができる。 ・「じゅん番にならべよう」ではあらずじを話させてクイズを出させてもよい。
3 「読書クイズ」大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備</li> <li>・ 実行</li> <li>・ 自己課題の解決</li> </ul>		





